

内外海地区は、内外海半島中央部にある秀麗久須夜岳の麓にあり、外海(宇久湾・矢代湾)、内海(小浜湾)に面した風光明媚、自然豊かな地域で、海の幸、山の幸を求めて観光客が毎年多く訪れます。内外海小学校は、海に面する集落、泊・堅海・仏谷・若狭・宇久・西小川・加尾・甲ヶ崎・阿納尻・阿納・犬熊・志積・矢代の13集落を校区としており、校区のほぼ中央部に平成3年4月に新設された小学校です。

内外海小学校では『自ら学び、共に生きる子の育成』を教育目標に掲げ、研究テーマを『意欲的に追求し、自分で表現できる子の育成』とし、

めざす児童像

- 1 自分で勉強する子
- 2 仲間と助け合う子
- 3 たくましい心と体をもつ子

重点課題

コミュニケーション能力の育成

をあげ、『夢を育む元気な学校』を目指しています。

今年度も、「人権の花運動」の実施校及び「あいさつ運動推進校」の指定を受け、学校花壇の花と共に挨拶の花も咲かせたいと考えています。

子どもたちは、海に面した豊かな環境と地域の特色を生かした大敷き網、牡蠣の種付けやわかめ刈り、米作りや野菜作り、梅干し作り等を地域の方に教えていただきながら、体験しています。そして海の活動を最大限に取り入れながら、郷土の食文化にふれ、望ましい食習慣を身につけ、食を通して自らの健康管理ができるように学習を進めています。

ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ児童の育成、地域団体や家庭と連携、協力をしながら、心身ともに元気な夢を語れる児童の育成を目指して、活動していきます。



ふるさと大好き！

夢を持つ元気な内外海っ子花壇



大敷き網体験



梅ジュース作り



牡蠣の種付け作業